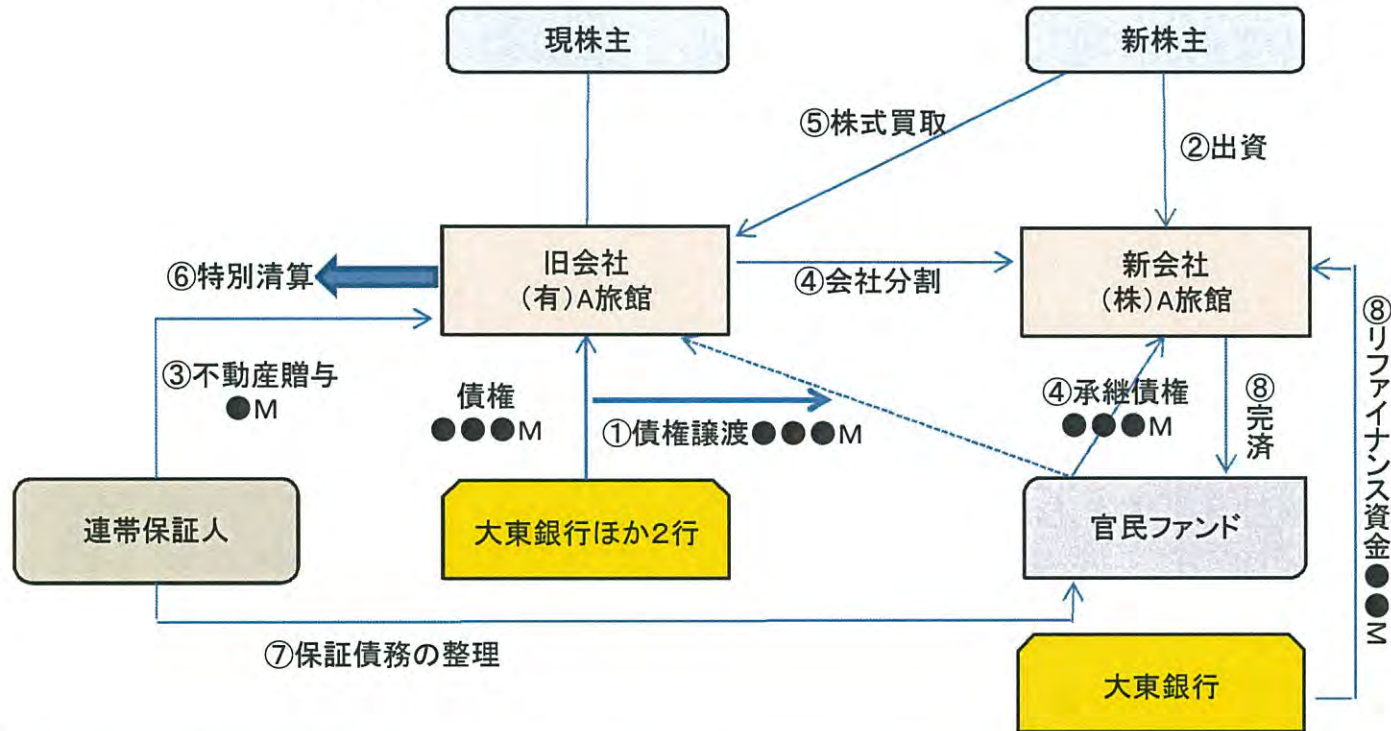


# A旅館 再生スキーム図



- ①大東銀行ほか2行の債権を時価にて官民ファンドへ譲渡。
- ②新株主から出資を頂き、新会社を設立。
- ③連帯保証人は、担保提供している事業用不動産を旧会社へ贈与。
- ④旧会社から吸収分割手続きを利用し、旅館事業を譲渡。その際に、事業に関連する資産、負債の他、官民ファンドの債権のうち●●●Mを承継。分割の対価は当社の株式●万円。
- ⑤新会社の代表取締役は会社分割に伴って旧会社に発行された新会社株式を●万円で購入。
- ⑥会社分割後、旧会社は特別清算手続きによって清算。
- ⑦旧会社の債務に対する連帯保証人の責任を果たすため、特定調停により返済方法を決定し官民ファンドへ返済。これにより連帯保証人の保証債務については整理完了。
- ⑧官民ファンドへ債権譲渡後3年が経過し、業況は順調に推移。財務内容は金融機関と正常取引ができる状態になる。大東銀行がリファイナンス資金を融資し官民ファンドへ返済。